



ユニバーサルデザインフード

日本介護食品協議会・ニュースリリース

平成 25 年 7 月 12 日
日本介護食品協議会

報道関係各位

＜続く年率 2 ケタ増＞

「ユニバーサルデザインフード」年間生産額 100 億円突破

～生産量・生産金額とも大幅増、市販用で高い伸び～

◆ユニバーサルデザインフード生産量・金額各 116.8%、116.0%。市販用伸びる

今般、日本介護食品協議会（会長：古舘正史（キューピー㈱ 取締役 広報・CSR 本部長））は、会員企業を対象に平成 24（2012）年のユニバーサルデザインフード生産統計を集計した。この結果、生産量 9,237 トン、生産金額 10,825 百万円で前年対比はそれぞれ 116.8%、116.0%と前年に引き続き大きく増加した。

◆ユニバーサルデザインフード製品登録数 1,029 アイテムに

ユニバーサルデザインフードの商品は、現在 1,029 品目が登録されており年々増加している。協議会の発足以降、利用者、食品メーカー問わずユニバーサルデザインフードについての問い合わせは頻度を増していることから、今後さらに生産量、アイテム数は増加して行くことが見込まれる。

【ユニバーサルデザインフード増加の要因（概況）】

日本介護食品協議会では、2002 年の設立以来、一般の利用者層へはもとより、医療、介護、福祉等方面に対しても、ユニバーサルデザインフードの啓発に真摯に取り組んできたが、超高齢社会の現状を見る通りそのニーズは今後ますます高まっていくことが予測されている。

増加の内訳はスーパーやドラッグストアの小売店、通信販売等の市販用が、生産量、生産金額において前年対比 127.2%、116.6%、施設・病院給食等の業務用が同 113.8%、115.9%となっている。市販用において高い伸び率を示しているが、これは、会員企業各社の努力もさることながら、販売店舗数や売り場面積が増加するなど、卸売業や小売業において当該分野の食品に対する理解が着実に進んでおり、積極的にユニバーサルデザインフードが取り扱われるようになってきたことを裏付けている。このほか、協議会への「ユニバーサルデザインフード」に対する問合せも食品製造業者、流通関連業者、マスコミなどから相次ぎ、期中 7 社の加入に見るとおり各方面での一層の関心の高まりがうかがえた。現在の会員企業数は 52 社を数える。



ユニバーサルデザインフード

日本介護食品協議会・ニュースリリース

平成 25 年 7 月 12 日
日本介護食品協議会

「日本介護食品協議会」について ～介護食品の規格を統一～

我が国は「超高齢社会」をむかえましたが、以前より各食品メーカーでは「介護」シーンでの利用を考慮した食品の開発や販売を行ってきました。しかし、当初の「介護食品」はメーカーによって製造に関する規格や表示方法が異なるため、利用者の不便が指摘されていました。

そこで、これら利用者の不便を解消するため、食品メーカーを中心に、素材や容器など多くの企業が集まり、『日本介護食品協議会』を設立（2002年4月）し、介護食品の「食べやすさ」「使いやすさ」などについて「統一規格」を制定しました。協議会ではその規格に適合する商品すべての人が食べやすいことから「ユニバーサルデザインフード」とし、以降、次々と「ユニバーサルデザインフード」のロゴマークを表示した商品が誕生、現在もその数は増え続けています。

協議会では、「ユニバーサルデザインフード」をすべての利用者に安心して使っていただくために、関連する情報の発信や普及啓発活動、自主規格の整備などを行い介護食品業界の健全な発展を目指すとともに、みなさまの食べる楽しみを通じて QOL(クオリティーオブライフ・生活の質)の向上に貢献していきたいと考えています。

*会員企業数は、平成 24 年度に 50 社を超え、現在では 52 社となっています。

「ユニバーサルデザインフード」とは

日常の食事から介護食まで幅広くお使いいただける、食べやすさに配慮した食品です。その種類も様々で、レトルト食品や冷凍食品などの調理加工食品をはじめ、飲み物やお食事にとろみをつける「とろみ調整食品」などがあります。

ユニバーサルデザインフードのパッケージには、必ず UDF マークが記載されています。これは日本介護食品協議会が制定した規格※に適合する商品だけについているマークです。お客さまが選びやすいよう、どのメーカーの商品にも「かたさ」や「粘度」の規格により分類された4つの区分を表示しています。この区分を目安にご利用に適した商品を安心して選んでいただけます。まずはパッケージの UDF マークをご覧ください。

※日本介護食品協議会会員である食品メーカーはこの規格に基づき商品を製造・販売しています。

【問合せ先】

日本介護食品協議会 事務局

〒101 - 0042 東京都千代田区神田東松下町 10 - 2

翔和神田ビル 3 階（日本缶詰協会内）

電話 03 - 5256 - 4801 F A X 03 - 5256 - 4805



ユニバーサルデザインフード



ユニバーサルデザインフード

日本介護食品協議会・ニュースリリース

平成 25 年 7 月 12 日
日本介護食品協議会

<以下、各見出しの詳細>

◆ユニバーサルデザインフード生産量・金額各 116.8%、116.0%。市販用伸びる

今般、日本介護食品協議会では、会員企業を対象に実施した、平成 24 (2012) 年のユニバーサルデザインフード生産統計を集計した。この結果、生産量 9,237 トン、生産金額 10,825 百万円で前年対比はそれぞれ 116.8%、116.0%と前年に引き続き大きく増加した。生産量、生産金額ともにすべての区分で増加している。

区分 3 の生産量、商品数が最も多いが、特に区分 2 において前年対比 163.3%、区分 1 においても同 130.6%と高い伸びを示した。これは、常食に近い商品ニーズの高まりを受けたものだが、区分 1~2 はこれまで商品投入数が少なかったところへアイテムの充実が図られつつある。また、区分 4 についても同 118.2%と高い伸びとなった。とろみ調整食品についても同 109.4%と堅調な伸びを示している。

施設や病院の給食等に利用される業務用は前年対比 113.8%で、常食より少しやわらかい食事 (区分 1~2) の提供に際して、献立のレパートリーが増え利便性が高いとして評価を受けているものとみられる。これら業務用は冷凍品中心であり、旺盛な需要がある。常温品が中心の市販用においては同 127.2%で、販売店舗の増加や各店舗における設置面積の拡大により、これまでの区分 3 中心の品ぞろえから、区分 1~4 までを取り扱える環境が整ってきているとみられる。業務用に比して市販用の伸びは著しいが、これは一昨年以来の傾向であり、注目度の高さがうかがえる。卸売業等流通関係企業では、今後の介護食品需要の高まりを見込み、小売店へユニバーサルデザインフード商品の提案を積極的に行っている。また、市販用の金額の伸び率は生産量に比較して低いが、これは各社の企業努力により、利用しやすい価格帯を実現しつつあることを反映している。

◆ユニバーサルデザインフード製品登録数 1,029 アイテムに

ユニバーサルデザインフードの商品は、現在 1,029 品目が登録されており年々増加している。

協議会の発足以降、利用者、食品メーカー問わずユニバーサルデザインフードについての問い合わせは頻度を増していることから、今後さらに生産量、アイテム数は増加して行くことが見込まれる。

【UDF 商品登録状況】

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	0	6	0	53	59
冷凍食品	135	67	428	12	0	642
常温食品	35	68	155	69	1	328
合計	170	135	589	81	54	1,029

(平成 25 (2013) 年 5 月末現在)

平成 25 年 7 月 12 日
日本介護食品協議会



ユニバーサルデザインフード生産統計

日本介護食品協議会

		平成21(2009)年		平成22(2010)年		平成23(2011)年		平成24(2012)年	
		数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)
区分	1	813	707	849	761	958	951	1,251	1,111
	2	402	413	509	504	609	591	995	789
	3	2,585	2,583	3,215	3,154	3,619	3,496	3,887	4,170
	4	1,016	814	1,118	948	1,432	1,221	1,693	1,423
とろみ		1,065	2,710	1,185	2,927	1,290	3,070	1,411	3,333
合計		5,880	7,226	6,876	8,293	7,908	9,328	9,237	10,825
タイプ別	乾燥	1,091	2,789	1,217	3,023	1,322	3,168	1,445	3,437
	冷凍	2,066	2,065	2,455	2,454	2,728	2,837	3,541	3,629
	常温	2,724	2,373	3,204	2,817	3,858	3,323	4,252	3,759
合計		5,880	7,226	6,876	8,293	7,908	9,328	9,237	10,825
販売先別	市販	1,099	1,287	1,306	1,509	1,785	2,128	2,271	2,480
	業務	4,782	5,939	5,569	6,784	6,123	7,200	6,966	8,345
合計		5,880	7,226	6,876	8,293	7,908	9,328	9,237	10,825

※暦年集計

※金額は出荷ベース

ユニバーサルデザインフード平成24(2012)年生産量・金額前年対比

		平成24(2012)年		平成23(2011)年		12/11年対比		12/10年対比	
		数量(トン)	金額(百万円)	数量(トン)	金額(百万円)	数量(%)	金額(%)	数量(%)	金額(%)
区分	1	1,251	1,111	958	951	130.6	116.9	147.4	146.1
	2	995	789	609	591	163.3	133.6	195.6	156.7
	3	3,887	4,170	3,619	3,496	107.4	119.3	120.9	132.2
	4	1,693	1,423	1,432	1,221	118.2	116.5	151.4	150.1
とろみ		1,411	3,333	1,290	3,070	109.4	108.6	119.1	113.9
合計		9,237	10,825	7,908	9,328	116.8	116.0	134.3	130.5
タイプ別	乾燥	1,445	3,437	1,322	3,168	109.3	108.5	118.7	113.7
	冷凍	3,541	3,629	2,728	2,837	129.8	127.9	144.2	147.9
	常温	4,252	3,759	3,858	3,323	110.2	113.1	132.7	133.5
合計		9,237	10,825	7,908	9,328	116.8	116.0	134.3	130.5
販売先別	市販	2,271	2,480	1,785	2,128	127.2	116.6	173.8	164.4
	業務	6,966	8,345	6,123	7,200	113.8	115.9	125.1	123.0
合計		9,237	10,825	7,908	9,328	116.8	116.0	134.3	130.5

※本統計は日本介護食品協議会会員企業の「ユニバーサルデザインフード生産統計」です。介護食品全体の市場規模を表すものではありません。

図1 ユニバーサルデザインフード生産量・生産金額の推移

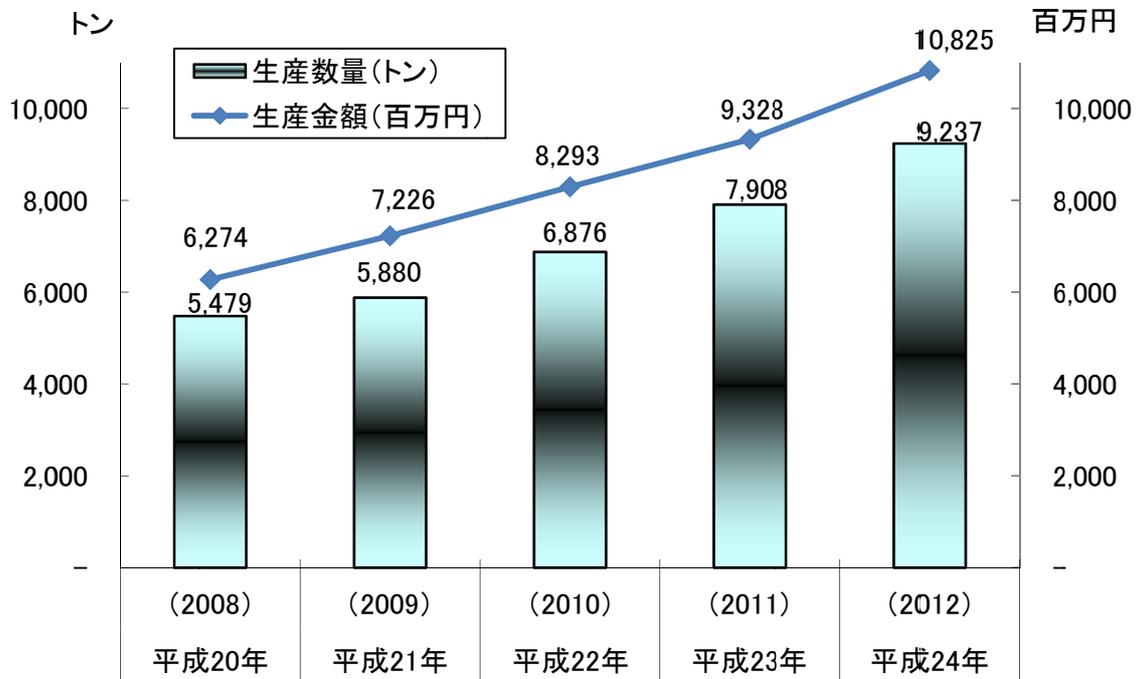


図2 ユニバーサルデザインフード商品登録数の推移

